



常新新聞  
 一、常新新聞  
 二、常新新聞  
 三、常新新聞  
 四、常新新聞  
 五、常新新聞  
 六、常新新聞  
 七、常新新聞  
 八、常新新聞  
 九、常新新聞  
 十、常新新聞  
 十一、常新新聞  
 十二、常新新聞  
 十三、常新新聞  
 十四、常新新聞  
 十五、常新新聞  
 十六、常新新聞  
 十七、常新新聞  
 十八、常新新聞  
 十九、常新新聞  
 二十、常新新聞  
 二十一、常新新聞  
 二十二、常新新聞  
 二十三、常新新聞  
 二十四、常新新聞  
 二十五、常新新聞  
 二十六、常新新聞  
 二十七、常新新聞  
 二十八、常新新聞  
 二十九、常新新聞  
 三十、常新新聞  
 三十一、常新新聞  
 三十二、常新新聞  
 三十三、常新新聞  
 三十四、常新新聞  
 三十五、常新新聞  
 三十六、常新新聞  
 三十七、常新新聞  
 三十八、常新新聞  
 三十九、常新新聞  
 四十、常新新聞  
 四十一、常新新聞  
 四十二、常新新聞  
 四十三、常新新聞  
 四十四、常新新聞  
 四十五、常新新聞  
 四十六、常新新聞  
 四十七、常新新聞  
 四十八、常新新聞  
 四十九、常新新聞  
 五十、常新新聞  
 五十一、常新新聞  
 五十二、常新新聞  
 五十三、常新新聞  
 五十四、常新新聞  
 五十五、常新新聞  
 五十六、常新新聞  
 五十七、常新新聞  
 五十八、常新新聞  
 五十九、常新新聞  
 六十、常新新聞  
 六十一、常新新聞  
 六十二、常新新聞  
 六十三、常新新聞  
 六十四、常新新聞  
 六十五、常新新聞  
 六十六、常新新聞  
 六十七、常新新聞  
 六十八、常新新聞  
 六十九、常新新聞  
 七十、常新新聞  
 七十一、常新新聞  
 七十二、常新新聞  
 七十三、常新新聞  
 七十四、常新新聞  
 七十五、常新新聞  
 七十六、常新新聞  
 七十七、常新新聞  
 七十八、常新新聞  
 七十九、常新新聞  
 八十、常新新聞  
 八十一、常新新聞  
 八十二、常新新聞  
 八十三、常新新聞  
 八十四、常新新聞  
 八十五、常新新聞  
 八十六、常新新聞  
 八十七、常新新聞  
 八十八、常新新聞  
 八十九、常新新聞  
 九十、常新新聞  
 九十一、常新新聞  
 九十二、常新新聞  
 九十三、常新新聞  
 九十四、常新新聞  
 九十五、常新新聞  
 九十六、常新新聞  
 九十七、常新新聞  
 九十八、常新新聞  
 九十九、常新新聞  
 一百、常新新聞

本行編輯人 川崎文治  
 本社同前地(電話六三〇番)  
 印刷所 常新新聞印刷所

刊夕月二十月四

**常警論壇**  
**減び行く 農村を前に**  
 在京 四食仙次郎

(一)

田舎見ながら今出て視やれ、  
 舍野々、れ山となれ。是  
 れは私が曾て農村問題に關  
 して呶々した事が数々あつ  
 たので或る友が送つて呉れ  
 た短歌の一である。現今我  
 が邦の經濟界一般の状況は  
 世界の不景氣 伴ひ不況に  
 陥り此の突如として東京横  
 濱方面に大震災災が生じた  
 ので一層萎靡不振のどん底  
 に沈倫しておるものである。

此の不況は早晩必ず好景氣  
 に轉回するものである。然  
 るに其の中農經濟の狀態  
 に就いて視れば世が好景氣  
 になつたからと言ふて大  
 した恩恵にもあすからず一  
 不況になれば又その捲添を  
 喰ふて萎靡して結局降つて  
 も照つても氣勢の擧らない  
 のは農業であらうと思はる  
 のである。

然るに此の農業の社會的並  
 に國家的地位を視るに我が  
 邦の如きは特、國民經濟を  
 極めて重要な生産業を引  
 き受けて居り之に従事する  
 農民は二千余萬人五百五十  
 一以上を占めておるのであ

る。そして都市住民と共に  
 性情及び活動に於て相補ひ  
 國民併成の分子として農民  
 は大いに尊重される可く又經  
 濟上非常に重大なる意義を  
 持つておるのである。故に  
 農業を振興せしめ農村文化  
 を進める事は頗る緊要の事  
 に屬するのであるが而し纏  
 つて農業の現況農村の實勢  
 を視る時は決して樂觀を許  
 さざるもの多々あるを發見  
 するのである。

(つづく)



酒 清 鶴仙  
 石城郡平窪村  
 松吉屋本店  
 電話二四二番

の石流最  
 ンリスモ  
 賣廉大  
 目ヲ二季

貸 家  
 仲間町商店向十圓  
 櫻町勤人向十圓十圓  
 柳町勤人向八圓五錢

保 險  
 東洋火災 平代理店  
 共保生命警東代理店

加藤營業所  
 御用電話三三二番  
 中白銀町十五番地  
 振替口座仙臺六二四三番  
 電話三三二番二五五番

御料理のたまわ  
 離れ座敷新築落成致しました  
 から御利用下さい

御進物に  
 嶺の鹽  
 嶺山屋塩

御料理のたまわ  
 離れ座敷新築落成致しました  
 から御利用下さい

世の中はたんたんと  
 雷氣の機械になります  
 之れを望まんとする少年は當店で修業なさい  
**小學校卒業生募集**  
 (尋常六年又ハ高等二年)  
 常盤線平町四丁目十五番地  
 電話一八八番  
 機械 磐城工業商會  
 中村佐治助

吳服類は總べて  
 安く良くは 電の標語です  
 必ず御満足して戴ける確信です  
 中野吳服店  
 平町三丁目 電話六七番

公債 債券  
 買券  
 大正生命保險株式會社  
 平代理店  
**多田井質店**  
 平町大工町

今回弊店儀株式組織に變更仕り一層顧客  
 各位の御便宜を圖る事と相成候間倍舊の  
 御引立幾重にも奉懇願候  
 大正十五年四月五日  
**株式會社百澤商店**  
 百澤 易 興  
 平町四丁目 電話二二番

あん餅で  
 東北一...  
 鐵道省御用舖  
**花澤四良司菓子店**

萬年瓦  
 福島縣四倉町  
 萬年瓦工業株式會社  
 電話三八

### 本社主催

## 花見氣分豊富な

### 懸賞 行燈行列

#### 御参加を乞ふ

本社は平町の花見景氣を一層熾んならしめんが爲め左記要領に依り「懸賞廣告行燈行列」を催します、何卒奮つて御参加の程を願ひ上げます

- ▼期日 四月十四日(但し雨天の際順延)
- ▼集會地 午後六時半迄に新川端へ
- ▼行燈形状 形状自由なるも大きさは一人が擔ぎ得るを以つて一燈の範圍と爲す
- ▼行列順路 花火を合圖に樂隊を先登とし長橋町より材木町、鍛冶町、南町を経て新川町より五丁目に出で四丁目、三丁目、二丁目、一丁目を過ぎ紺屋町より古鍛冶町に曲折し更に搔懸小路より田町大通りに出で大王町より六丁目、鎌田町に至り立町裏を再び新川端に到着
- ▼宣傳自由 行列進行に當り各参加者自身の宣傳ビラ撒布及び假裝等自由と爲す
- ▼行燈縦覧 その翌日より三日間新川端に参加行燈全部を建置して電燈を灯し一般の縦覧に供ふ
- ▼行燈審査 行燈の廣告意匠を審査し百燈に就き十五燈の割にて夫々受賞者を定む
- ▼審査員 平町知名の士に本社が囑託す
- ▼賞與 一等十圓、二等八圓、三等五圓、四等三圓、五等一圓、六等以下粗景(常夜参加者一同に食品提供)
- ▼會費 本社は一切地より金品の寄附を仰がざるを以つて一燈に就き二圓宛の實費を申受く
- ▼参加申込 平町長橋町五番地常警毎日新聞社
- ▼申込締切 四月十日

### 平驛前

#### 自動電話の稼ぎ

##### 利用が足りぬ

平驛前公衆自動電話の十四年度中に於ける収入を見るに市内六百三十件市外一千三十件此の金額四百一十一圓で前年度に比し市内が七十件の増市外七百一十一件の減少で總体から見ると六百四

### 内務部長

豫告なしに突然 半井内務部長は昨日午後七



家庭欄

生薑とワサビの用方  
生薑やワサビは、すしにはせひなくてはならぬものであります。それを料理に用ひます時は、根生薑は庖

### 警城訓盲院

#### 落成近づく

移轉は六月頃 平町法人訓盲院にてはこの

### けふの平町は...

#### ハツピ姿で埋まる

##### 警察部長も来平

既報平署管内四町八ヶ村消防組の聯合檢閲は本日午前八時半警鐘を合圖に平署を基點として一丁目より六丁目迄各組整列同九時守屋警察部長以下が人員服裝等の檢閲を爲し夫れより歩武堂中警中舊グラウンドに向つて行進、午前十一時より同所に於て操練及びボンブの取扱へを爲し止午喫飯休憩後百數十名の優良組員を一々表彰して櫻村平警察署長の講評、守屋警察部長の訓示あり、滑川警中校長は來賓を代表して祝辭を述べ受賞總代西川玉川組頭組員總

### 花ぬすびと

#### 平町で警戒

最近毎夜の如く平町松ヶ岡公園並に新川町の櫻樹にのぼり含らんだ蕾の枝を盗み去る者が頻出するので當局者は交代に嚴重監視する筈である

### 高久村優勝

#### 優勝旗贈らる

既報一昨日平署演武場に開催した武徳會分會主催の劍道優勝旗試合に於て高久村が廿八名優勝し第一等の成績にて優勝旗を授與され

### 馬市不景氣

#### 中寺の賣れ高

石城郡產馬畜産組合では上遠野や小川川前等て夫々馬市場を開いてゐるが農家の懐工合がよくないためか去月末から去る三日まで開いた石城郡澤渡村大字中寺馬市場の取引模様をきくに相場馬數三百六十五頭のうち賣れたものは漸やく百七十頭に過ぎず價格の最高三百十圓最低三十圓で賣上金高一萬八千八百一十一圓平均百三圓となつてゐるが賣買成立せず飼養主が引取つて歸つたもの百九十三頭といふ實に過半数で甚だ賣行き悪かつたのは全く豫想外である

### 行燈行列の審査員

#### 本社より囑託

本社主催「懸賞廣告行燈行列」の審査員は参加行燈五個以上の申込者中より五氏を選び高野平商教頭を加へ左記六氏に是れを囑託する事となつた(但し審査員は自己出陳の行燈に採點せざるは勿論である)

- 平トノボ會 金成泉一郎
  - 平商業學校 高野秀松
  - 警城銀行 草野順平
  - 山崎合名會社 山崎清三
  - マツモトヤ 松本貞雄
  - 釜屋商店 諸橋守次
- 以上いろは順

### 財団法人に

#### 功勞者を表彰

惠まれない氣の毒な人々に温かい寢床と食を與へる免因保護を目的とした平自營會は會長に現中區裁判所檢察官崎正巳氏を推しその後好成績を収めてゐたが今回

### 募集

文藝其他投稿を募集します

基本金が一萬圓に達したので財團法人組織にあらため新設備を施すことになつたが十八日午前十時からこれが卒業報告をかへて例會を平町第二小學校講堂に開くことに決した、因に當日は

### ナマコ大漁

#### 小名濱にて

石城郡小名濱港を中心として出入する打瀬網漁船は最近ナマコの大漁にして一艘一航海平均一萬尾内外二百圓位の漁獲高にして之を製造加工する人も澤山有り輸出先は支那方面にして賣行

### 教員の住宅

#### 我國でもこう矢

石城郡三坂村澤渡兩村で去

### 平十三日會

#### 平町十日例會

三日例會は同日午後七時より平銀行樓上において開催するが石城中學校教諭山本正雄氏の「生物の進化に付いて」の講演ある筈